



自由民主党 吉田光雄 6
災害時の水の確保について

問中央小学校区にはマンションが多く、災害時の水の確保は困難が予想されるが、水の確保について、市の考えを伺う。

答危機管理監 中央小学校区は、災害の規模によつては、飲料水と比べ、使用量の多いトイレや洗濯等に使用する生活用水が十分確保できないことも想定される。周辺の川越第一中学校、富士見中

学校及び月越小学校には災害用給水井戸があり、また、埼玉県の防災拠点校である川越工業高等学校には、耐震性貯水槽が設置されており、災害時に水道が断水し使用できなくなつた場合には、以上の給水設備等を活用し、近隣住民の水を確保することを想定している。

問防災井戸



公明党 中村文明 7
バイクの駐車場の設置を

問郊外型駐車場の拡張について現在検討を進めているとのことだが、その検討にバイクの駐車場の設置も含められないか。

答産業観光部長 郊外型駐車場は国道254号東側の城下町地内に無料観光駐車場として、いるま野農業協同組合が運営する「あぐれっしゅ川越」と共用しているが、近年、観光客の増加により、非

問観光の利便性の向上
答災害備蓄品の充実



公明党 大泉一夫 8
自治会の声を聞く調査実施

問自治会への市民の加入減少が重要課題で、条例等で加入促進も考えられるが、まず自治会長等の声を聞く調査をすべきと思うが市の考えを伺う。

答栗原副市長※ 自治会は、市民に最も身近な存在として地域社会で重要な意義を持ち、災害等への対応、地域防犯への取り組み等様々な役割を持つてしていると認識する。

市としては、加入率減少に伴い地域コミュニティ機能が低下し、事業等の継続が困難となることを懸念している。今後の地域づくりの支援を検討する上で、活動の実態や市民意識を把握することが重要であることから、地域で活動する方や広く市民を含めたアンケート調査実施を検討する。

問自治会活動と市の関係



自由民主党 海沼秀幸 9
総合防災訓練検証結果活用

問自衛隊を始めとする防災関係機関、行政、市民の方々が集まり、盛大に開催された川越市総合防災訓練において、検証結果の活用に関して伺う。

答危機管理監 今後の訓練については、今回の課題を踏まえた見直しを行い、各訓練において、十分な時間を確保し、重点的に実施するとともに、啓発・体験コーナーの参

問防災・減災パート2



自由民主党 吉野郁恵 10
江戸情緒を伝える川越観光

問江戸情緒を残す貴重な蔵の町並みの雰囲気を守り育てていく事が大切と考えるが、観光客のリピーターを増やすために必要なことについて伺う。

答産業観光部長 新たな観光資源を発掘し観光エリアの拡大を推進することが必要と考える。また、広域連携により地域の魅力を発信することや新河岸川舟運などを通じて江

戸文化の影響を受けた川越特有の歴史的、文化的資産を活用することで外国人観光客等のリピーター確保につながることも重要である。例えば、着物を着た時の所作や心得、振る舞いなど、古くからの慣習なども同時に体験できる質の高い観光振興がリピーターの増加につながるかと考える。

問蔵の町並みと観光振興



政晴会 樋口直喜 11
無形文化遺産登録を契機に

問山車の曳行において、電線については例年問題視されている。今後のまつの維持、継承には電線への迅速な対応が望まれるが、市長のご見解は。

答市長 山車の曳行に支障がないように電線を配置するためには、電線のかさ上げや路線によっては地中化といった方法なども考えられる。どのような方法が適し

問川越水川祭の山車行事

